

# 算数科年間指導計画（シラバス）

## 第3学年

広島市立草津小学校

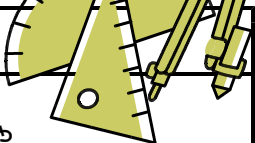
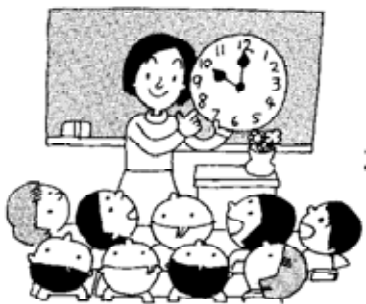
### 学習目標

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにする。
- (4) 資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにする。

### 授業の工夫

児童が算数の学習は「楽しいもの」・「役に立つもの」という実感をもつことができるような授業を心がけていきたいと思ひます。そのために身近な問題を多くとりいれるとともに、実際の計算や測定をするなど作業的・体験的な活動を多くとりいれていきます。また、3年生の算数では、計算技能の習得が大きな比重を占めます。繰り返し練習することにより確実に計算技能を身につけさせていきたいと思ひます。

### 年間授業計画

月	単 元 名	評 価 の 観 点	
4	1 たし算とひき算	<div style="float: right; text-align: right;">  </div> <p><b>【算数への関心・意欲・態度】</b> 知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、生かそうとする。</p> <p><b>【数学的な考え方】</b> 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。</p> <p><b>【数量や図形についての表現・処理】</b> 整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。</p> <p><b>【数量や図形についての知識・理解】</b> 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。</p>	
5	2 かけ算		
6	3 かけ算のひっ算		
4	4 時間と時こく		
7	5 表とグラフ		
9	6 長さ		
	7 かさ		
		<b>評 価 の 方 法</b>	
10	8 わり算	<p>単元ごとのテスト・小テストなどを中心に家庭学習、学習態度、発表など普段の学習の様子を加味して評価をします。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	
11	9 形		
	10 大きな数		
12	11 あまりのあるわり算		
1	12 2けたのかけ算		
2	13 重さ		
	14 箱の形		
3	15 3年まとめ		
年間授業時数 150時間			